校長通信「若き息吹き」 No.29

【 勝って学び、負けて学ぶ　～男子バレーボール部～　】

令和５年１１月１５日

【ベスト１６に進出】第７６回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）兵庫県予選大会が地元淡路で行われました。本校男子バレーボール部は、１回戦山崎高校、２回戦市立西宮高校、３回戦西宮東高校を破り見事ベスト１６まで勝ち進みました。県大会で３回勝つのはなかなか大変なことなので素晴らしい活躍であると思います。

【‘絶対王者’市立尼崎と対戦】そして、ベスト８進出をかけて市立尼崎高校に挑みました。市立尼崎といえば、春高バレーやインターハイに２４年連続出場しており、平均身長が１８０cm を越える最強チームです。このようなチームに勝つのは至難の業ですが、公式戦という真剣勝負の場で対戦することができたことは本当に良い経験になったと思います。今回はキャプテンのM2A 齋藤　航希君と副キャプテンのM2A 西野　友翔君の２人が来室し、今大会や部活動について話を聞かせてくれました。

齋藤君：「3 年生にとって最後の大会なので、最後に良い成績が残せて良かったです。市立尼崎との対戦では全国レベルのプレーを体験できたし、自分たちと違うところを見つけるいい機会になりました。戦えて嬉しかったです。キャプテンとしては、チームをまとめたりするのが苦手でしたがチームメイトや先生に支えてもらいながら最近はできるようになってきました。部活動では、礼儀や団結力の大切さを学ぶことができました。自然とあいさつができるようになったし、お互いの支え合いでチームが団結しています。」

西野君「3 年生と市立尼崎との対戦を目指して楽しくバレーができて良かったです。市尼には自分たちのプレーは通用しなかったけど、成長したいと思いました。今は右手の骨折の影響でパスが上手くいかないので、自主練で克服しようとしています。強いスパイクも打っていきたいです。部活動では仲間との助け合いや励まし合い、教え合いが大切だということを学びました。自分の足りないところは自主練でカバーすることも大事だと思います。」

２人に共通しているのは、３年生へのリスペクトと、チームメイトとの繋がりや絆を大切にしているということだと思います。本当にいいチームワークですね。次は新チームで是非ベスト８を目指して邁進して欲しいです。